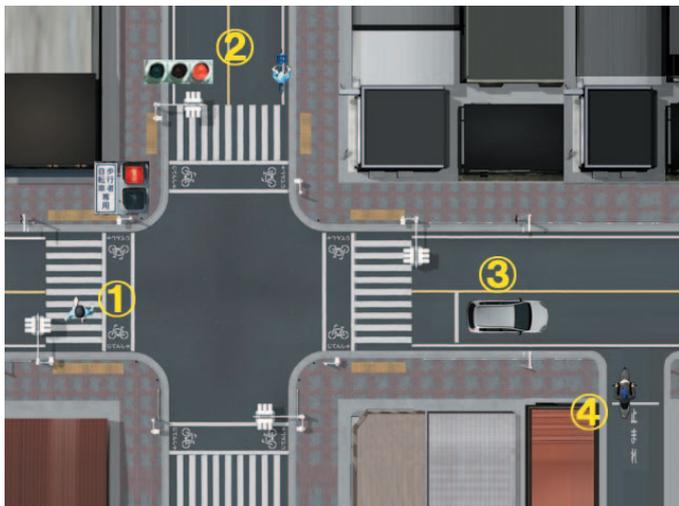


<p>主 題</p>	<p>自転車に乗るときの基本的な心得～交通ルールを学び、守ろう</p>	
<p>ねらい</p>	<p>交通ルール等の必要性や交通事故の危険性など、自転車に乗車する際の基本的な心得を理解し、安全な自転車利用ができるようにさせる。</p>	
<p>評 価</p>	<p>①交通ルール等を守ることの大切さが理解できたか。 ②交通事故の危険性や怖さを知り、安全な自転車乗用を実践しようとする心構えができたか。</p>	
<p>学習項目</p>	<p>指導内容</p>	<p>指導上の留意点</p>
<p>1. 交通ルールを守ることの大切さ</p>	<p>(1) 4つの交通場面の絵を見て、どこが交通ルール違反なのか、またこの後どのような危ないことが考えられるのかを、発表させる。 ●資料1（交通場面） ①信号を守らない歩行者 ②右側通行の自転車 ③右側通行の車 ④一時停止しないバイク ●資料2（危ない場面） (2) 交通ルール等をよく知ること、守ることの大切さを理解させる。</p>	<p>○なぜ交通ルール違反になるのか原因についても考えさせる。 ○交通ルールを守らないことが危ないことにつながることを理解させる。 ○自転車は道路交通法上、軽車両として扱われ、車と同じように、交通ルールを守らなければならないことを理解させる。 ○歩行者、特に子ども、身体の不自由な人、お年寄りに対して思いやりを持って自転車に乗ることの大切さに触れる。</p>
<p>2. 交通事故の危険と交通ルール</p>	<p>(1) 交通場面の絵を見て、どこが危ないのかを考え、発表させる。 ●資料3（交通場面） ①道路の右側を走る ②歩道の真ん中を走る ③歩道に自転車を止める ●資料4（危ない場面） ①カーブで車とぶつかる ②歩道で歩行者とぶつかる ③障害者が自転車にぶつかる (2) 交通ルールに従った自転車の正しい利用の仕方について考え、発表させる。 ●資料5（自転車の正しい利用の仕方） ①道路の左端を走る ②道路に近い所を走る ③自転車を決められた場所に止める</p>	<p>○クイズ形式で興味をもたせ、楽しみながら実施させる。 ○焦りや急ぎなど心理的な原因にも気付かせる。 ○自転車の特性（すぐに止まれない、車の運転者から発見されにくい、倒れやすい）についても理解させる。</p>
<p>3. まとめ</p>	<p>積極的に交通ルール等を学び実践しようとする意欲を高め、自転車による交通事故に遭わないように安全な自転車乗用に努めさせる。 ●おさらい紙芝居</p>	<p>○家族や友だちが交通事故に遭ったら、どんな気持ちになるか想像させ、事故の悲惨さ、怖さに気付かせる。 ○楽しみながら、学習した内容を確認させる。</p>

小学生(1～3年生)－1 (自転車に乗るときの基本的な心得)

●資料1 (交通場面)

交通場面全体



この絵の中には、人が歩いていたり、自転車やバイク、車が走ったりしているね。

みんなこのまま進むと、どうなるかな。

人や自転車、バイク、車がどうなるか、みんなで考えてみよう。

●資料2 (危ない場面)

①信号を守らない歩行者



信号を守らないと、走ってくる車とぶつかってしまうかもしれないね。

②右側通行の自転車



道路の右側を自転車で走ると、前から走ってくる車とぶつかってしまうかもしれないね。

③右側通行の車



道路の右側を車が走ると、車同士でぶつかってしまうかもしれないね。

④一時停止しないバイク

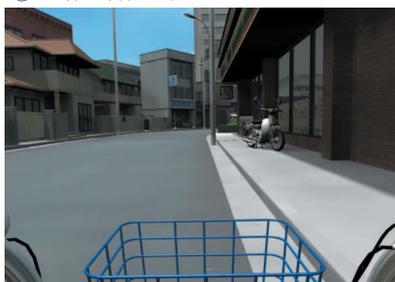


「止まれ」の所で止まらなないと、右から走ってくる車とぶつかってしまうかもしれないね。

●資料3 (交通場面)

次の絵は、みんな交通ルールを守っていない自転車ばかりだよ。
交通ルールを守らないとどうなるか、分かるかな。みんなで考えてみよう。

①道路の右側を走る



②歩道の真ん中を走る



③歩道に自転車を止める



●資料4（危ない場面）

①カーブで車とぶつかる



前から走ってくる車とぶつかってしまうかもしれないね。

②歩道で歩行者とぶつかる



歩いている人とぶつかってしまうかもしれないね。

③障害者が自転車にぶつかる



目の不自由な人が自転車にぶつかってしまうかもしれないね。

●資料5（自転車の正しい利用の仕方）

①道路の左端を走る



自転車は車と同じ仲間だよ！道路では、左側の端を走ろう。

②道路に近い所を走る



歩道の真ん中を走っているから、こんな危ないことになるんだよね。

歩道を走るときは、道路に近い所をゆっくり走ろう。

歩いている人に迷惑になりそうときは、止まってあげたり、たくさん人がいるときは、自転車から降りて押して歩こう。

③自転車を決められた場所に止める



決められた場所に自転車を止めないと、歩いている人や車にとっても迷惑になるんだよね。

MEMO

主 題	自転車に乗るときの注意	
ねらい	自転車に乗るときに守るべき色々な注意事項を理解し、安全な自転車利用ができるようにさせる。	
評 価	①正しくない乗り方をした場合の危険性に気づき、安全に乗るために必要な注意事項が理解できたか。 ②安全に乗るための諸注意の大切さを知り、日常の自転車利用において実践しようとする心構えができたか。	
学習項目	指導内容	指導上の留意点
<p>1. 自転車の危ない傘さし運転</p> <p>2. 危ない理由と安全な乗り方</p> <p>3. 自転車に乗るときの注意</p> <p>4. まとめ</p>	<p>傘をさして自転車に乗っている絵を見て、この後どのような危ないことが考えられるのか、発表させる。</p> <p>●資料1（傘をさして自転車に乗る）</p> <p>①歩道で傘をさして乗る ②道路で傘をさして乗る</p> <p>●資料2（危ない場面）</p> <p>①歩道で歩行者とぶつかる ②道路で車とぶつかる</p> <p>危ないことにあわないためにはどのように乗ればよいのか考え、発表させる。 〈なぜ危ないのか？〉</p> <p>①傘で前がさえぎられて、周りが見えにくい。 ②片手運転になり、不安定な運転になる。</p> <p>●資料3（安全な乗り方） レインコートを着て乗る</p> <p>自転車に乗るときの悪い例を見て、どこがいけないのかを考え、自転車に乗るときに注意しなければいけないことを理解させる。</p> <p>●資料4（自転車に乗るときの注意・悪い例）</p> <p>①大人の自転車に乗る ②ヘルメットをかぶらないで乗る ③ブレーキ故障の自転車に乗る ④荷台のひもがほどけたまま乗る</p> <p>●資料5（自転車に乗るときの注意・良い例）</p> <p>①体に合った自転車に乗る ②ヘルメットをかぶって乗る ③ブレーキなどが故障していないかちゃんと調べてから自転車に乗る ④荷台のひもはしっかり巻いてから乗る</p> <p>自転車に乗るときに必要な注意を理解し、日常の自転車利用に役立てるように努めさせる。</p> <p>●おさらい紙芝居</p>	<p>○なぜ危ないのかについても考えさせる。</p> <p>○傘をさしたり、ハンドルに固定したりして自転車に乗ることが危ないことを理解させる。</p> <p>○雨の日は、車の運転者からもよく見えていないことにも触れる。</p> <p>○雨の日は、自転車や車がブレーキをかけても止まる長さが延びることを理解させる。</p> <p>○雪道や凍った道では、自転車を押して歩くことを理解させる。</p> <p>○悪い例のまま自転車に乗ると、どのような危険が考えられるのかについても触れる。</p> <p>○履き物にも注意が必要なことにも触れる（サンダル、下駄は危険）。</p> <p>○楽しみながら、学習した内容を確認させる。</p>

小学生(1～3年生)－2 (自転車に乗るときの注意)

●資料1 (傘をさして自転車に乗る)

①歩道で傘をさして乗る



②道路で傘をさして乗る



お友だちが傘をさして自転車に乗っているよ。
この後、どうなると思う。みんなで考えてみよう。危ないことになってしまうかもしれないね。

●資料2 (危ない場面)

①歩道で歩行者とぶつかる



歩いている人とぶつかるかもしれないね。

②道路で車とぶつかる



後ろから走ってくる車とぶつかるかもしれないね。

●資料3 (安全な乗り方)

レインコートを着て乗る



傘をさして自転車に乗ると、周りがよく見えないし、片手運転になってふらついてしまうよね。雨の日に自転車に乗るときは、車を運転する人から見られやすいように、明るい目立つ色のレインコートを着よう。滑りやすいから、スピードを出さないようにすることも大事だよ。

●資料4 (自転車に乗るときの注意・悪い例)

次の絵を見て、どこがいけないのか、みんなで考えてみよう。

①大人の自転車に乗る



②ヘルメットをかぶらないで乗る



③ブレーキ故障の自転車に乗る



④荷台のひもがほどけたまま乗る



●資料5 (自転車に乗るときの注意・良い例)

①体に合った自転車に乗る



②ヘルメットをかぶって乗る



③ブレーキなどが故障していないかちゃんと調べてから自転車に乗る



④荷台のひもはしっかりと巻いてから乗る



- ①自分の体に合った自転車じゃないと、ふらついて、うまく乗れないね。
子ども用の自分の体に合った自転車に乗ろう。
- ②ヘルメットをかぶらないで自転車に乗ると、転んだり、ぶつかったりしたときに大事な頭を守ることができないよ。
自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶろう。
- ③自転車のブレーキが壊れていたら大変。危ないと思って止まることができないよ。
自転車に乗る前には、ブレーキが壊れていないか、後ろに光を反射する物や明かりが付いているか、ちゃんと調べてから乗ろうね。
- ④ズボンのすそや荷台のひもがチェーンやスポークに巻き込まれたりしたら、転んじゃうよ。
ズボンのすそはきちんととめて、荷台のひもはしっかり荷台に巻いて乗るようにしよう。
乗りにくい服装やサンダル・げたなどの脱げやすい履き物で乗るのはやめようね。

主 題	自転車の安全な乗り方	
ねらい	自転車の危険な乗り方をすると交通事故を起こしやすいことを知り、自転車乗用時のきまりを守り、安全に乗用することができるようにさせる。	
評 価	①決まりを守り、安全に自転車に乗ろうとする意欲を持てたか。 ②危険な乗り方をすると、交通事故を起こしやすいことが理解できたか。	
学習項目	指導内容	指導上の留意点
<p>1. 自転車の危ない乗り方</p> <p>2. 危ない理由と安全な乗り方</p> <p>3. 自転車の安全な乗り方</p> <p>4. まとめ</p>	<p>自転車の危ない乗り方の絵を見て、どのような危ないことが考えられるのか、発表させる。</p> <p>●資料1（危ない乗り方）</p> <p>①自転車に右側から乗る ②車と車の間に入って走る</p> <p>●資料2（危ない場面）</p> <p>①後ろからきた車とぶつかる ②後ろからきた車とぶつかる・前の車に追突する</p> <p>危ないことにあわないためにはどのように乗ればよいのか考え、発表させる。</p> <p>●資料3（安全な乗り方）</p> <p>①自転車の左側から乗る ②車と車の間に入らないで道の左端を走る</p> <p>いろいろな危ない乗り方の場面を見て、なぜ危ないのかを知るとともに、どうすれば安全なのかを理解させる。</p> <p>●資料4（危ない乗り方）</p> <p>①二人乗り ②並んで乗る ③競走して乗る ④ジグザグしながら乗る ⑤ブレーキが壊れた自転車に乗る ⑥傘をさして乗る ⑦ライトをつけないで乗る ⑧踏切の手前で止まらない ⑨物を持ったり、ハンドルにかけたりして乗る</p> <p>●資料5（安全な乗り方）</p> <p>②一列になって乗る ⑥レインコートを着て乗る ⑦ライトをつけて乗る ⑧踏切の手前で止まって押して渡る ⑨かごや荷台に荷物を積んで乗る</p> <p>自転車に乗るときの約束を理解し、心構えを発表させる。</p> <p>●おさらい紙芝居</p>	<p>○見たことや危ない目にあったことにも触れる。（プライバシーに配慮する。事前に確認する）</p> <p>○交通ルールを守らないことが危ないことにつながることを理解させる。</p> <p>○停止するときは、十分にスピードを落としながら道路の左端に沿って停止し、左側に降りることを知らせる。</p> <p>○どのような危険が考えられるのかについても触れる。</p> <p>○安全を守るための約束を守ろうとする意欲を持たせ、実践化につなげる。</p> <p>○楽しみながら、学習した内容を確認させる。</p>

小学生(1～3年生)－3 (自転車の安全な乗り方)

●資料1 (危ない乗り方)

次の絵は、自転車の危ない乗り方の絵だよ。この後どうなると思う。
みんなで考えてみよう。

①自転車が右側から乗る



②車と車の間に入って走る



●資料2 (危ない場面)

①後ろからきた車とぶつかる



後ろから走ってくる車とぶつかるかもしれないね。

②後ろからきた車とぶつかる・前の車に追突する



後ろから走ってくる車とぶつかったり、前の車に追突したりするかもしれないね。

●資料3 (安全な乗り方)

①自転車の左側から乗る



自転車の右側から乗るのは、車がすぐそばを走っているから、とても危ないんだよ。
自転車の左側から乗るようにしよう。

②車と車の間に入らないで道の左端を走る



車と車の間を走るのは、前や後ろの車とぶつかってしまうかもしれないから、とても危ないんだよ。
道路の左側の端をきちんと走ろう。
もちろん、車のすぐ後ろを走るのもやめようね。

●資料4（危ない乗り方）

①二人乗り



②並んで乗る



③競走して乗る



④ジグザグしながら乗る



⑤ブレーキが壊れた自転車に乗る



⑥傘をさして乗る



⑦ライトをつけないで乗る



⑧踏切の手前で止まらない



⑨物を持ったり、ハンドルにかけたりして乗る



①二人乗りは、ふらついてとても危ないのでやめよう。

②並んで走るのは道をふさいだり、お友だちとの話に夢中になって周りへ注意がいかなかったりして、車や歩いている人にとっても迷惑で危ない乗り方だね。

③自転車で競走するのは、周りへ注意がいなくなってとても危ないのでやめよう。

④ジグザグ運転は、車や歩いている人の迷惑になるので、やめよう。

⑤ブレーキやライトが壊れたり、道が凍っていたり、雨や風が強いときは、危ないから自転車を押して歩くようにしようね。

⑥傘をさして自転車に乗るのは、片手運転になったり、周りが見えにくくなったりしてとても危ないね。

⑦夜、ライトをつけないで走ると、車を運転する人からは見えにくくなって、とても危ないね。

⑧踏切を止まらないで渡ると、電車や列車とぶつかってしまうかもしれないね。

⑨物を持ったり、ハンドルにかけたりして乗るのは、ふらついてとても危ないね。

●資料5（安全な乗り方）

②一列になって走ろう



⑥レインコートを着て乗る



⑦ライトをつけて乗る



⑧踏切の手前で止まって押して渡る



⑨かごや荷台に荷物を積んで乗る



②一列になって走ろう。

⑥車を運転する人から見られやすくするために、できるだけ明るい目立つ色のレインコートを着るようにしよう。

⑦夜に自転車に乗るときは、必ずライトをつけて走ろう。

⑧踏切では、必ず止まって安全を確かめてから、自転車を押して渡るようにしよう。

⑨かごや荷台にきちんと積むようにしよう。

MEMO

主 題	自転車の通行場所と正しい通行方法（歩道と車道）	
ねらい	自転車も、車両であることを理解させ、決められた通行場所と通行方法を守って、安全な走行ができるようにさせる。	
評 価	①自転車に乗るときの通行場所と正しい通行方法が理解できたか。 ②正しい通行方法を守り、安全な走行をしようとする意識が高まったか。	
学習項目	指導内容	指導上の留意点
1. 歩道を通る場合の正しい通り方	(1) 2つの歩道の絵を見て、それぞれ自転車はどこを通るのが正しいのか考え、発表させる。 ●資料1（歩道では自転車はどこを通るの？） ①自転車の通行部分がある歩道 ②自転車の通行部分がない歩道 (2) 歩道を通る場面を見て、どのような危ないことが考えられるのか、発表させる。 ●資料2（歩道を通る場面） ○歩行者のいる歩道 ●資料3（危ない場面） (3) 危ないことにあわないためにはどうしたらよいのか考え、発表させる。 ●資料4（正しい通り方） ①道路に近い所 ②自転車の描かれている所 ③一時停止 ④降りて押して歩く ⑤自転車同士の行き違い	○クイズ形式で興味をもたせ、楽しみながら実施させる。 ○歩行者からの視点を示し、危ない乗り方を具体的に知らせる。 ○小学生は歩道を通行できることを理解させる。 ○速いスピードで走るときは、車道を通行することにも触れる。 ○その他の歩道を通る場合の正しい通り方を理解させる。
2. 車道を通る場合の正しい通り方	(1) 車道と3種類の路側帯の絵を見て、それぞれ自転車はどこを通るのが正しいのか考え、発表させる。 ●資料5（車道と路側帯を通る交通場面） ①車道 ②白の1本線の路側帯 ③白の点線と1本線の路側帯 ④白の2本線の路側帯 (2) 路側帯を通る場面を見て、どのような危ないことが考えられるのか、発表させる。 ●資料6（路側帯を通る交通場面） ○歩行者のいる路側帯 ●資料7（危ない場面） (3) 危ないことにあわないためにはどうしたらよいのか考え、発表させる。 ●資料8（路側帯の正しい通り方） ①一度止まってあげる ②自転車から降りて押して歩く	○クイズ形式で興味をもたせ、楽しみながら実施させる。 ○歩行者からの視点を示し、危ない乗り方を具体的に知らせる。 ○その他の車道の通る場所と通り方を理解させる。 ●資料9（①自転車道があるとき ②止まっている車の右側を通るとき）
3. まとめ	自転車の歩道通行と車道通行における正しい通行方法を理解し、これからの自転車利用で実践しようとする。 ●おさらい紙芝居	○楽しみながら、学習した内容を確認させる。

小学生(1～3年生)－4 (自転車の通る場所と正しい通行方法・歩道と車道)

●資料1 (歩道では自転車はどこを通るの?)

自転車が歩道を走っているよ。どこを通ったらいいのかな、みんなで考えてみよう。

①自転車の通行部分がない歩道



②自転車の通行部分がある歩道



●資料2 (歩道を通る場面)

歩行者のいる歩道

自転車が歩道を走っているよ。この後どうなると思う。みんなで考えてみよう。



●資料3 (危ない場面)

前から歩いてくる歩者とぶつかる



歩道の真ん中を走ると、前から歩いてくる人とぶつかるかもしれないね。

●資料4 (正しい通り方)

①道路に近い所



②自転車の描かれている所



①自転車で歩道を通るときは、道路に近い所をいつでも止まれるスピードでゆっくり走ろう。

②自転車と描かれていたり自転車のマークがある所では、そこを通ろう。

③一時停止



④降りて押して歩く



③歩いている人とぶつかりそうなきは、一度止まってあげよう。

④歩いている人がたくさんいるときは、自転車から降りて押して歩こう。ベルを鳴らしながら走るのはやめようね。

⑤自転車同士の行き違い

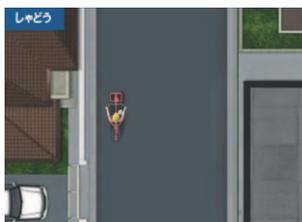


⑤自転車同士が行き違うときは、スピードを出さないうでぶつからないように間をあけて、歩いている人に注意し、相手の自転車を右に見ながらよけて通ろう。おまわりさんなどからこうしてねと言われたら素直に聞こうね。

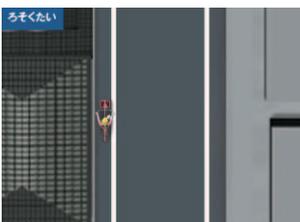
●資料5（車道と路側帯を通る交通場面）

次の絵を見て、自転車で通るとき、どこを通るのが正しいか、みんなで考えてみよう。

①車道



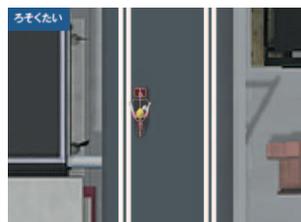
②白の1本線の路側帯



③白の点線と1本線の路側帯



④白の2本線の路側帯



車の通る道路では、道路の左側の端を通り、路側帯を通るときは、歩行者の迷惑にならないように通ろうね。でも、白い2本線の路側帯では、自転車は通ることができないよ。

●資料6（路側帯を通る交通場面）

歩行者のいる路側帯

自転車で路側帯を走っているお友だちがいるよ。この後どうなると思う。みんなで考えてみよう。



●資料7（危ない場面）

前から歩いてくる歩行者とぶつかる

路側帯を通るときは、歩行者に気をつけないと、前から歩いてくる人とぶつかるかもしれないよ。



資料8（路側帯の正しい通り方）

①一度止まってあげる



②自転車から降りて押して歩く



①自転車で路側帯を通るときに、歩いている人とぶつかりそうなときは、一度止まってあげてね。

②歩いている人がたくさんいるときは、自転車から降りて押して歩こうね。

●資料9（①自転車道があるとき ②止まっている車の右側を通るとき）

①自転車道があるとき



近くに自転車道があるときは、そこを通ろうね。

②止まっている車の右側を通るとき

ア 一度止まる



イ 前後の安全確認



イ 車のまわりに注意



ア止まっている車の右側を通るときは、車の手前で一度止まり、イ前や後ろの安全を確かめてから、ウ車と安全な間をあけて、車のまわりに注意してゆっくり走るようにしようね。

MEMO

主 題	自転車の通行場所と正しい通行方法（交差点と道路の横断）	
ねらい	自転車の通行場所と正しい通行方法、横断の仕方を守って、安全な走行ができるようにさせる。	
評 価	①信号機のある交差点とない交差点での正しい通行の仕方が理解できたか。 ②道路の正しい横断の仕方が理解できたか。 ③正しい通行の仕方と横断の仕方を実践し、安全な走行をしようとする意識が高まったか。	
学習項目	指導内容	指導上の留意点
1. 信号機のある交差点の正しい通り方 2. 信号機のない交差点の正しい通り方 3. 道路の正しい渡り方 4. まとめ	(1) 信号機のある交差点での3種類の通り方を見て、どれが正しいのか考え、発表させる。 ●資料1（信号機のある交差点の正しい通り方） ①自転車横断帯 ②横断歩道（自転車に乗って） ③横断歩道（自転車から降りて） (2) 交通場面を見て、どのような危険なことが考えられるのか、発表させる。 ●資料2（信号機のある交差点の直進場面） ●資料3（危険な場面） ①前から右折してくる車とぶつかる ②後ろから左折してくる車とぶつかる (3) 危険なことにあわないためにはどうしたらよいのか考え、発表させる。 ●資料4（信号機のある交差点の正しい通り方） (1) 信号機のない交差点での2種類の右折の仕方を見て、どの通り方が正しいのか考え、発表させる。 ●資料6（信号機のない交差点では自転車はどのように通るの？） ①交差点の真ん中を通過して右折 ②2回に分けて右折 (2) 交通場面を見て、どのような危険なことが考えられるのか、発表させる。 ●資料7（信号機のない交差点を右折する場面） ●資料8（危険な場面） (3) 正しい通行方法について考え、発表させる。 ●資料9（信号機のない交差点の正しい通り方） 道路の正しい横断の仕方を理解させる。 ●資料10（正しい横断の仕方） ①横断歩道の渡り方 ②自転車横断帯の渡り方 ③横断歩道や自転車横断帯がない所での渡り方 信号機のある交差点とない交差点での正しい通行の仕方、道路の正しい横断の仕方を理解し、これからの自転車利用で実践しようとする。	○クイズ形式で興味をもたせ、楽しみながら実施させる ○車からの視点を示し、危険な乗り方を具体的に知らせる。 ○車の特性（死角、内輪差）にも触れる。 ○歩道から交差点に速いスピードで進入した場合の危険性に触れる。 ○信号機の種類と意味を理解させる。 ●資料5（歩行者用信号の見方） ○クイズ形式で興味をもたせ、楽しみながら実施させる ○車からの視点を示し、危険な乗り方を具体的に知らせる。 ○楽しみながら、学習した内容を確認させる。

小学生(1～3年生)ー5 (自転車の通る場所と正しい通行方法・交差点通行と横断)

●資料1 (信号機のある交差点の正しい通り方)

信号機のある交差点を自転車が走っているよ。正しい通り方をしているのはどの自転車かな、みんなで考えてみよう。

①自転車横断帯



②横断歩道(乗って)



③横断歩道(降りて)



●資料2 (信号機のある交差点の直進場面)

信号機のある交差点

信号機のある交差点を自転車が走っているよ。この後どうなると思う。みんなで考えてみよう。



●資料3 (危ない場面)

①前から右折してくる車とぶつかる



前から右に曲がってくる車とぶつかるかもしれないね。

②後ろから左折してくる車とぶつかる



後ろから左に曲がってくる車とぶつかるかもしれないね。

●資料4 (信号機のある交差点の正しい通り方)

①信号機のある交差点の直進



信号機のある交差点をまっすぐ進むときは、信号を守って、車の動きに注意して進もうね。

②信号機のある交差点の右折



信号機のある交差点を右に曲がる時は、青信号で交差点の向こう側までまっすぐに進み、向こう側で止まって右に向きを変えて、前の信号が青になってから進むようにしましょう。

左に曲がる時は、前や後ろ、右左の安全を確かめ、できるだけ道路の左端をスピードを出さないでゆっくりと、横断している人に注意しながら曲がろうね。

●資料5（歩行者用信号の見方）

①青信号



②青信号のチカチカ



③赤信号



横断歩道を通るときは、「歩行者・自転車専用」の表示がなくても、歩行者用信号に従うようにしましょう。

- ①青信号は、進むことができるという意味だよ。右、左の安全を確かめて横断しようね。
- ②青信号のチカチカは、横断を始めてはいけないという意味だよ。次の青信号まで待とうね。
- ③赤信号は、横断をしてはいけないという意味だよ。安全な場所で次の青信号まで待とうね。

●資料6（信号機のない交差点では自転車はどのように通るの？）

信号機のない交差点を自転車が走っているよ。どうやって通るのがいいのかな、みんなで考えてみよう。

①交差点の真ん中を通過して右折



②2回に分けて右折



●資料7（信号機のない交差点を右折する場合）

信号機のない交差点の右折

信号機のない交差点を自転車が右に曲がろうとしているよ。この後どうなると思う。みんなで考えてみよう。



●資料8（危ない場面）

①後ろからきた車とぶつかる



前や後ろから走ってくる車とぶつかるかもしれないね。

②右側からきた車とぶつかる



右や左からくる車や人とぶつかるかもしれないね。

●資料9（信号機のない交差点の正しい通り方）

①信号機のない交差点の右折



②信号機のない交差点の左折



①「止まれ」の交通ルールを守らないで、安全を確かめないから、危ないんだね。

「止まれ」の標識や白い線がある所では、必ず一度止まって、前や後ろ、右左の安全を確かめてから、できるだけ道路の左端を走って交差点の向こう側までまっすぐに進み、スピードを出さないでゆっくり曲がるようにしましょう。

狭い道路から広い道路に出るときや前の様子がよく見えない曲がり角では、一度止まって、安全を確かめてから通るようにしようね。

②左に曲がるときは、白い線で一度止まり、前や後ろ、右左の安全を確かめてから曲がるようにしましょう。

●資料10（正しい横断の仕方）

①横断歩道の渡り方



②自転車横断帯の渡り方



③横断歩道や自転車横断帯がない所での渡り方



①横断歩道を自転車で渡るときに、渡っている人がいるときは、歩いている人にぶつかったり迷惑にならないように、自転車から降りて押して歩くようにしましょうね。

②近くに自転車横断帯があるときは、そこを渡ろう。

③近くに横断歩道や自転車横断帯がないときは、右左がよく見える所を選んで、車が走ってこないときに直角に渡ろうね。斜めに渡るのはいや。

走ってきた道路を戻るときも、正しい渡り方で道路の反対側に渡り、自転車の向きを変えるようにしましょう。